



ダブル・ブレイン

モーニングスター “ファンド オブ ザ イヤー 2020” 『最優秀ファンド賞』受賞

Morningstar Award “Fund of the Year 2020”

オルタナティブ型 部門



弊社が運用する「ダブル・ブレイン」が、モーニングスター “ファンド オブ ザ イヤー 2020” のオルタナティブ型 部門（対象ファンド数：540本、2020年12月末時点）において、『最優秀ファンド賞』を受賞しました。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2020年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。

運用者のコメント

平素より「ダブル・ブレイン」をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。
マンAHLを代表する2つの戦略を組み合わせた当ファンドが、昨年の優秀ファンド賞に続き、本年の最優秀ファンド賞の受賞に至ったことを大変光栄に思います。
2019年は株式市場を中心に総じて力強い相場環境でしたが、2020年は年初には一転して世界的な株価大幅下落、いわゆる「コロナ・ショック」が発生する一方で、年後半にかけて株式市場は大きな上昇を見せるなど変動の大きい相場環境となりました。このような様相の異なる市場環境において、当ファンドは、徹底したリスク・コントロールを一貫し、2つの戦略が相互に補完することで安定的かつ良好なパフォーマンスを維持し、世界の資産の成長を捉えながら運用することができました。それが、今回の2年連続で優秀ファンド賞、最優秀ファンド賞を受賞という評価につながったものと考えています。
世界経済の見通しにまだ不透明感が残っている環境下では、当ファンドのように世界の市場の変化を24時間休まずに監視していくことの重要性は高まっております。マンAHLが誇る最先端のシステムをフル活用することで、引き続き下値を抑制しながら長期的な分散投資を行う運用を、日本の投資家の皆さまにお届けしていく所存です。

Morningstar Award “Fund of the Year 2020”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

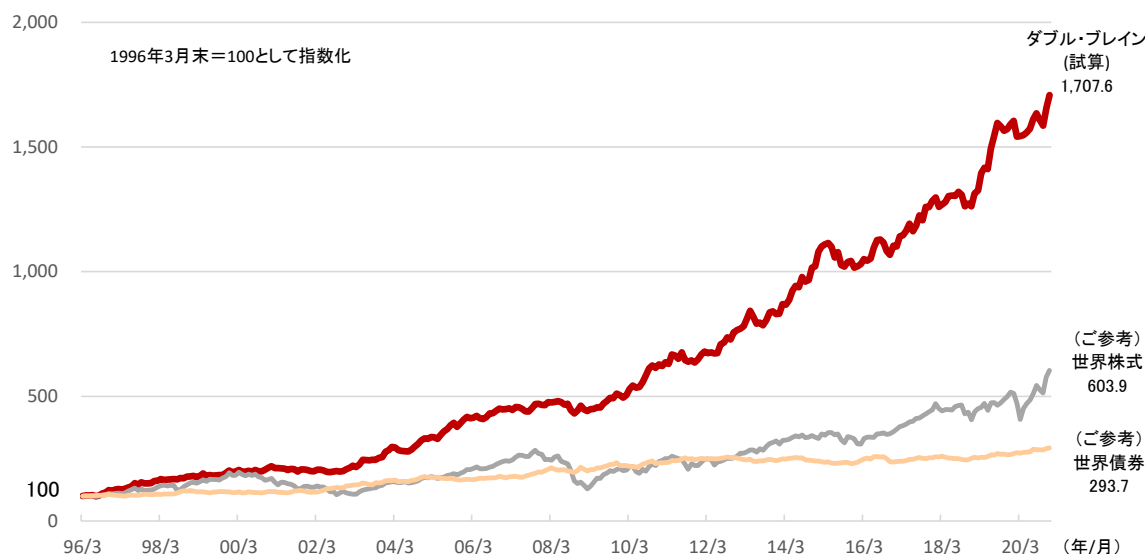
上記は過去の一定期間の実績が評価されたものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

堅調な長期パフォーマンスのカギは、2戦略の組み合わせ

設定来のファンドの基準価額の騰落率は、2020年12月30日現在で+21.4%、年率+9.4%と堅調なパフォーマンスを達成し、2年連続での優秀ファンド賞、最優秀ファンド賞の受賞となりました。リスクコントロールを重視した2戦略を組み合わせることで、米ドルベースのダブル・ブレイン（試算）でみると長期パフォーマンスでは年率+12.1%と、世界株式、世界債券を上回るパフォーマンスを示しています。

長期パフォーマンス比較

期間：1996年3月末～2020年12月末、月次



世界株式：MSCI AC ワールドインデックス（配当込み、米ドルベース）

世界債券：FTSE世界国債インデックス（米ドルベース）

ダブル・ブレイン（試算）については6ページをご参照ください。

（出所）マン・グループの情報等により野村アセットマネジメント作成

ダブル・ブレインの運用について

ファンドは、「リスクコントロール戦略」と「トレンド戦略」の2つの戦略に投資しています。両戦略とも、運用会社であるマン・グループのAHLの最新テクノロジーを駆使し、それぞれ約50市場・約500市場という幅広い市場に投資し、24時間システムが各市場の値動きを見て取引を行います。幅広く資産を分散し、絶え間なく市場を監視することで、中長期での安定した収益機会の獲得を目指します。

リスクコントロール戦略	<ul style="list-style-type: none"> 世界の約50市場に投資 ブレーキ機能を有し、相場の急変時には損失を抑制する
トレンド戦略	<ul style="list-style-type: none"> 世界の約500市場に投資 上昇局面、下落局面の両方で収益獲得が期待できる

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

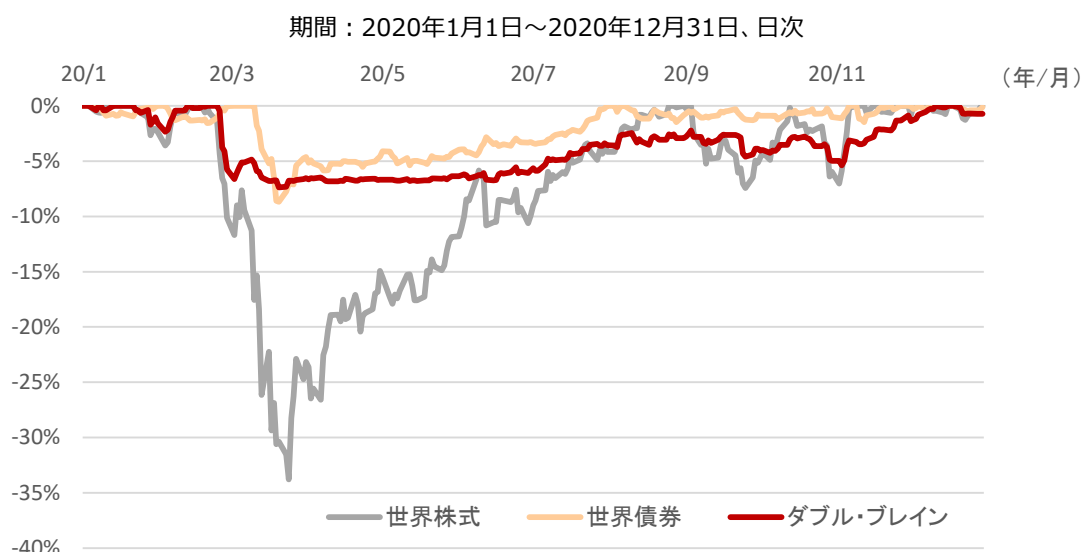
2020年の激しいマーケットの動きに対応①

2020年の振り返り

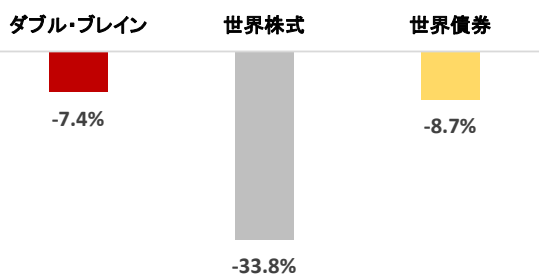
2020年のマーケットは、前半から新型コロナウイルスの感染拡大を受けて相場は急落し、株式などのリスク資産は軒並み下落しました。その後、各国が感染拡大に伴う景気後退に対応するため、財政・金融支援が行われ、徐々にリスク資産の価格が回復しました。さらに年末にかけては、新型コロナウイルスのワクチン開発に進展がみられたことなどから、景気回復への期待が高まり、株式をはじめリスク資産は上昇しました。

このようにマーケットが大きく上下する環境において、ダブル・ブレインはマーケットの下落の影響を最小限にとどめ、1年を通じて底堅いパフォーマンスとなりました。

最高値からの下落率の比較



ドロウダウン(最大下落率)の比較



<下落期間>

世界株式：2020年2月14日～2020年3月25日

世界債券：2020年3月11日～2020年3月23日

ダブル・ブレイン：2020年2月25日～2020年3月23日

最大下落率：期間中の下落が最も大きくなった局面の下落率（2020年1月1日から2020年12月31日の日次データを使用）

世界株式：MSCI AC ワールド インデックス（円ヘッジベース）

世界債券：FTSE世界国債インデックス（円ヘッジベース）

円ヘッジベースのリターンは、米ドルと日本円の3か月Liborの金利差をヘッジコストとし算出しています。

（出所）ブルームバーグデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

以下はダブル・ブレインが投資対象とする「マン・ファンズIX-マン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウム」（2018年11月13日設定）のデータです。

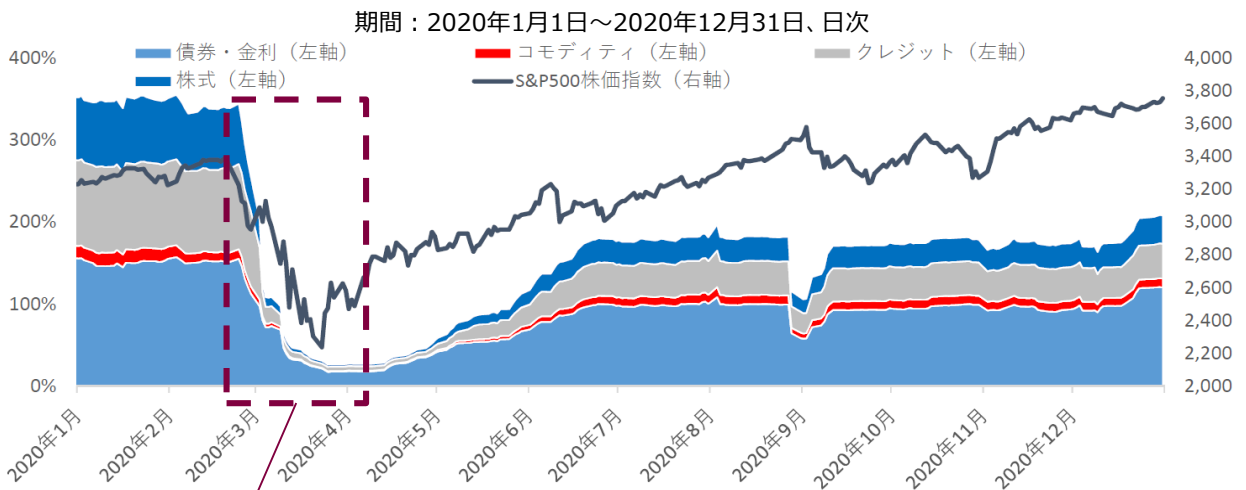
2020年の激しいマーケットの動きに対応②

投資配分比率の変化

日々変わるマーケット環境に応じて、ファンドの投資配分比率は常に変化します。リスクコントロール戦略では、市場のリスクが上昇するとファンドの投資配分比率が小さくなり、市場の値動きのファンドへの影響を軽微に抑えることができます。

リスクコントロール戦略では、2020年の新型コロナウイルスの感染拡大以前は350%程度であった投資配分比率を、1ヵ月で25%程度まで縮小しました。一方で、市場が落ち着きを取り戻し始めると、徐々に配分比率を拡大しました。このように市場のリスク水準を的確にとらえて、投資配分比率をコントロールすることが、中長期での安定的なパフォーマンスの獲得に重要であると考えております。

リスクコントロール戦略 投資配分比率の変化



2020年3月は、市場リスクの急激な上昇や、ブレーキの発動により、投資配分比率全体を引き下げました。

(出所) マン・グループ、ブルームバーグデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は「マン・ファンズIX-マン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウム」の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

SCIENCE.APPLIED TO FINANCE. ～科学の力を金融に～



日々急激に変化する金融市場に対して、人間の力だけでは対応が困難になりつつある中、マン・グループのAHLでは、英国・オックスフォード大学と共同研究を行うなど、科学の力を最大限活用しております。

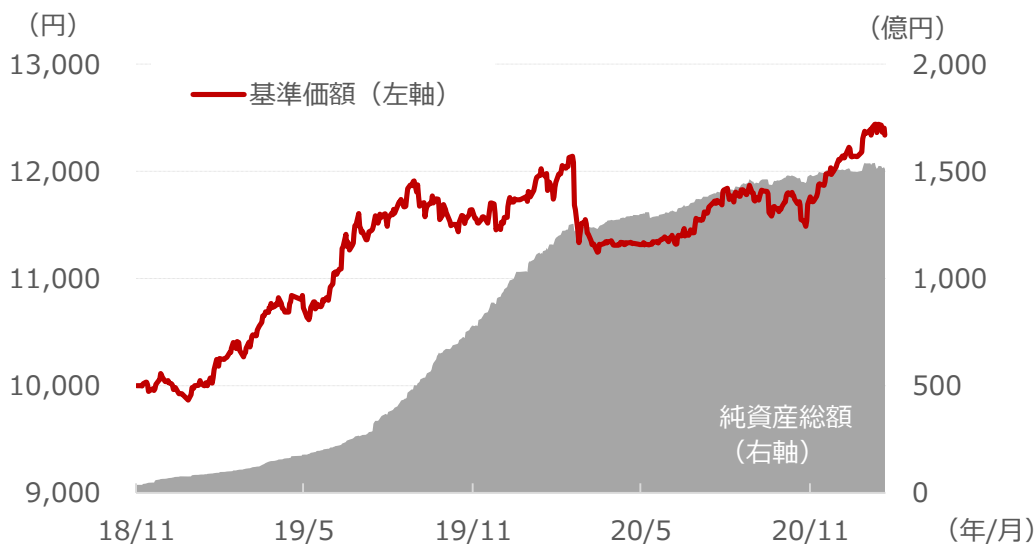
活用の一例として、AI（人工知能）を登用したトレーディングシステムを用いて日々トレードを行っております。1取引当たりのコストを素早く計算・予想し、コストを最小限に抑えることで、迅速かつ最適な投資配分比率の変更を目指しております。



(出所) マン・グループの情報により野村アセットマネジメント作成

基準価額と純資産総額の推移

期間：2018年11月9日（設定日）～2021年1月29日、日次



2021年1月29日現在、分配実績はありません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【ファンドの特色】

- 世界各国(新興国を含みます。)の株式、債券等を実質的な主要投資対象*とし、株式、債券、商品等に関連するデリバティブ取引、為替予約取引等を実質的な主要取引対象*とし、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行なうことを基本とします。

※ファンドは外国投資法人の円建て外国投資証券「マン・ファンズⅩーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウムー日本円クラス」および国内投資信託「野村マネーインベストメント マザーファンド」を投資対象とするファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。「実質的な主要投資(取引)対象」とは、外国投資法人や「野村マネーインベストメント マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資(取引)対象という意味です。

- 通常の場合においては、「マン・ファンズⅩーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウムー日本円クラス」への投資を中心とします*が、投資比率には特に制限は設けず、各証券の収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。

※通常の場合においては、「マン・ファンズⅩーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウムー日本円クラス」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

■外国投資法人「マン・ファンズⅩーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウムー日本円クラス」の主な投資方針について■

・「マン・ファンズⅩーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウム」はマン・グループが運用を行なうマスターファンドを通じて、世界各国(新興国を含みます。)の株式、債券等を実質的な主要投資対象とし、株式、債券、商品等に関連するデリバティブ取引、為替予約取引等を実質的な主要取引対象とすることにより、中期的な収益の獲得を目指します。

・ポートフォリオは、市場動向に追随する戦略(以下、「ダイバーシファイド戦略」と称する場合があります。)と投資対象の下落リスクを抑制する戦略(以下、「ターゲットリスク戦略」と称する場合があります。)で構成され、各戦略のリスク水準*を勘案し、マン・ソリューションズ・リミテッドが投資配分比率を決定します。なお、市場動向等に応じて投資配分比率を変更する場合があります。

※リスク水準とは、推定されるポートフォリオの変動の大きさのことです。

・マン・グループ傘下のAHL・パートナーズ・エルエルピー(AHL Partners LLP)が各戦略を用いるマスターファンドの運用を行ないます。

・ダイバーシファイド戦略は、各投資対象を売り持ち(ショート)または買い持ち(ロング)するポジションをとり、市場の上昇トレンドならびに下降トレンドの双方に追随し、絶対収益の獲得を目標に積極的な運用を行ないます。運用にあたっては、日々の価格データ等を勘案した多数の独自の定量モデルと24時間体制の取引システムを活用し、各投資対象の相関、流動性およびボラティリティ等を考慮し、機動的かつシステムティックにポジションを調整します。

・ターゲットリスク戦略は、各投資対象を買い持ち(ロング)するポジションをとり、安定した収益の獲得を目標に運用を行ないます。運用にあたっては、各投資対象のボラティリティを考慮し、ポートフォリオ全体のリスク水準が一定の範囲内に収まるよう調整します。また、投資対象の下落リスクを抑制する多数の独自の定量モデルを活用します。

・日本円クラスは、実質的な通貨配分にかかわらず、原則として当該クラスの純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り買いの為替取引を行ないます。

- 原則、毎年11月22日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

* 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

＜分配金に関する留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

当資料では、「ダイバーシファイド戦略」をトレンド戦略、「ターゲットリスク戦略」をリスクコントロール戦略と称する場合があります。

＜当資料で使用した指数について＞

- FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- MSCI All Country World IndexはMSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- S&P 500株価指数は、スタンダード&プアーズが公表している株価指数です。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード&プアーズファイナンシャルサービシーズ エルエルシーに帰属しております。

＜ダブル・ブレイン(試算)について＞

下記の「リスクコントロール戦略」と「トレンド戦略」のリターンに関連費用を差し戻し、それぞれの戦略の費用控除前リターンをマン・グループが算出。各戦略の費用控除前の月間リターンをリスク配分比率がおおよそ80:20となるように各戦略の投資比率を調整し、算出した合成リターンから、ファンドが投資する外国投資証券の信託報酬率(年1.1%)を控除して算出しております。なお、実際の運用においては投資比率が変更される場合があります。実在するポートフォリオの資産配分比率の推移でも、リターン(の推移)でもありません。過去の売買実行可能性および売買手数料、税金等の費用は考慮していません。ファンドの運用においては、売買コストや信託報酬、運用資産の規模、設定解約に伴う資金流出入などによる影響が生じます。そのため、ファンドの運用成果を示唆するものではありません。これらは過去の算出結果および試算結果であり、将来を約束するものではありません。

・リスクコントロール戦略:1996年4月~2014年12月はシミュレーションデータ、2015年1月以降は当戦略の代表ファンドである「Man Funds VI PLC - Man AHL TargetRisk」の実績(関連費用控除後)です。米ドルベース。シミュレーションデータは当戦略の考え方に基づき、月次で算出した各投資対象の投資配分と月間リターン(先物指数等のリターン)を基に代表ファンドと同様の関連費用を控除し、マン・グループが算出しております。シミュレーションデータは、当戦略の実際のパフォーマンスを示すものではなく、将来の運用成績を示唆するものではありません。

・トレンド戦略:当戦略の代表ファンドである「Man Funds VIII ICAV - Man AHL Diversified」(1996年4月~2007年12月)と「Man AHL Diversified PCC Limited」(2008年1月以降)の実績(関連費用控除後)です。米ドルベース。

【投資リスク】

ファンドは、外国投資証券等への投資を通じて、株式、債券等を実質的な主要投資対象としますので、当該株式の価格下落、金利変動等による当該債券の価格下落、当該株式の発行会社、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により基準価額が下落することがあります。また、株式、債券、商品等に関連するデリバティブ取引等を実質的な主要取引対象としますので、株価変動、債券価格変動、商品市況変動等の影響により基準価額が下落することがあります。また、為替予約取引等を実質的な主要取引対象としますので、為替の変動の影響により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、代替手法に関するリスク、取引先リスクなどがあります。
 ※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2028年11月22日まで(2018年11月9日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則、11月22日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌々営業日の基準価額
- ご購入単位 1口単位または1円単位(当初元本1口=1円)
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌々営業日の基準価額
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日あるいは申込日の翌営業日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金の各お申込みができません。
 ・ロンドンの銀行 ・ダブリンの銀行 ・ニューヨークの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2021年2月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年0.913%(税抜年0.83%)の率を乗じて得た額が、お客さまの保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 年2.013%程度(税込) *ファンドが投資対象とする外国投資証券の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
◆その他の費用・手数料	組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客さまの保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に
 応じて異なりますので、表示することができません。
 ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会 /
 一般社団法人日本投資顧問業協会 /
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。